

さんかくやま 三角山

さんさく 散策 MAP

正三角形の美しい山容と、市街地から近く、ほどよい高さから、三角山は四季を通して市民に親しまれています。

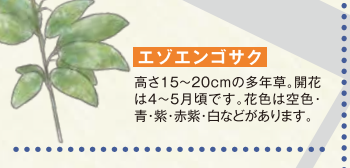
自然景観を損なわない最小限の整備が行われている山道を行くとお年寄りから子供連れまで、多くの市民とすれ違います。

気楽に掛けあう「こんにちは」のあいさつに、登山客の山への愛着の深さを感じさせてくれます。



三角山の四季

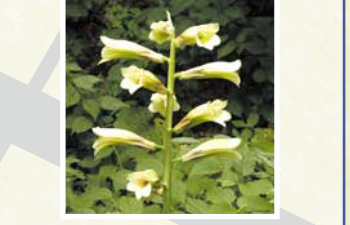
春 三角山の春は、雪の中から顔を出すフキノトウのかわいらしい花から幕があがります。雪が溶け始めるとナニワズがそっと花を開き、やがてエゾエンゴサクが日を浴びる斜面を青色に染めます。コブシの花が咲く頃、エゾヤマザクラが咲き誇り、ここから夏にかけて三角山ではさまざまな花が咲き競います。



秋 秋は収穫の季節。ヤマブドウが黒紫色に熟し始めると、コクワやナナカマドの実が実ります。山のあちこちにはキノコが顔をだし、野菊が花の季節の終わりを告げると、山の緑は赤く、黄色く、色づき、紅葉の山へとすがたを変えます。



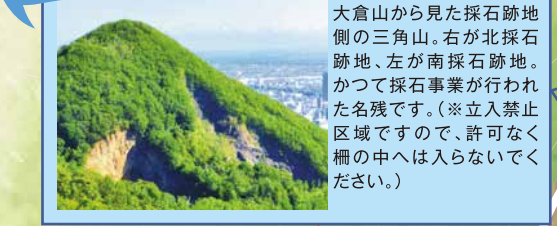
夏 夏は全山がエゾハルゼミの鳴き声で包まれます。セミが鳴く森の中をキアゲハが舞い、多くの虫たちが短い夏を惜しむかのように活発に活動します。夏の日差しを受けて草木は生い茂り、森は濃くなり、オオウバユリやエゾアジサイなどの花が、彩りを添えます。



冬 冬になっても三角山を登る人の足跡は途絶えることがありません。樹木から葉がなくなるため、見晴らしがよくなり、山頂からは札幌の全容が見渡せるようになります。元旦にはご来光を拜む人でにぎわいます。



採石跡地



案内板⑤~採石跡地間の眺望



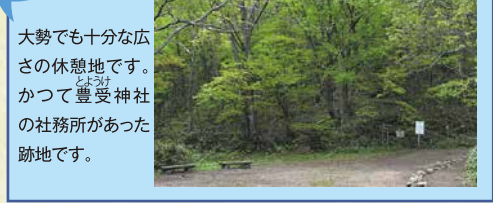
宮の森入口



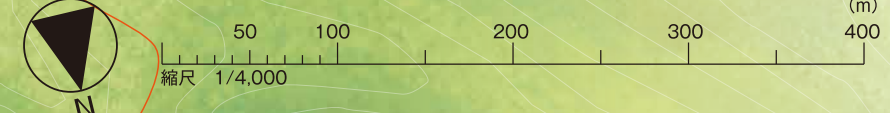
二人静かの散歩道



こぶし平(三の坂)



山の手入口



— 散策路	— 一般車道	A 総合案内板	W トイレ
▨ 階段	— 300 等高線	1~8 案内板	☺ ベンチ
⋯ 踏み跡	← 見晴らしがよい	P 駐車場	☱ 休憩所

三角山登山ガイド

▶三角山に親しむ皆さんが集うポピュラーコース
山の手入口 高低差238m/距離約1.4km/登り40分・下り30分
 登切 山の手入口→15分・0.4km→③→25分・1.0km→④・⑥・⑦・山頂
 下切 山頂→⑦・⑥・④→20分・1.0km→③→10分・0.4km→山の手入口

▶二人静かの散歩道は植物探勝コース
宮の森入口 高低差239m/距離約1.5km/登り50分・下り30分
 登切 宮の森入口→10分・0.2km→①→40分・1.2km→②・⑤・⑥・⑦・山頂
 下切 山頂→⑦・⑥・⑤・②→25分・1.2km→①→5分・0.2km→宮の森入口

▶中央区と西区の境界尾根を歩く縦走コース
小別沢入口 高低差170m/距離約2.5km/登り1時間20分・下り55分
 登切 小別沢入口→30分・1km→小別沢トンネル→50分・1.5km→⑧・⑦・山頂
 下切 山頂→⑦・⑧→35分・1.5km→小別沢トンネル→20分・1km→小別沢入口

